セルフケア ポータル

- セルフ ケア ポータルの概要 （1 ページ）
- セルフ ケア ポータルのタスク フロー （2 ページ）
- セルフ ケア ポータルの連携動作と制限事項 （3 ページ）

セルフ ケア ポータルの概要

Cisco Unified Communications セルフ ケア ポータルでは、ユーザは、電話の機能や設定をカスタマイズできます。

管理者は、セルフ ケア ポータルへのアクセスを制御します。エンド ユーザがポータルにアクセスする前に、ユーザをデフォルトの **Standard CCM End Users** アクセス制御グループまたは、**Standard CCM End Users** ロールが割り当てられている任意のアクセス制御グループに追加する必要があります。さらに、ユーザは、ユーザ ID、パスワード、およびポータルにアクセスするための URL を必要とします。ユーザは、次のいずれかの URL を使用してポータルにアクセスできます。

- **http://<server_name:portnumber>/ucmuser/**（*server_name* は Web サーバがインストールされているホスト、*portnumber* はホストのポート番号です）。
- **http://<ip address>/ucmuser/** または **http://<ip address>/ccmuser/**（*ip address* は Web サーバがインストールされているホストです）。

任意で、エンドユーザが設定できる電話設定を割り当てるために、Cisco Unified Communications Manager でエンタープライズ パラメータを設定することもできます。たとえば、**Show Call Forwarding** エンタープライズ パラメータは、ユーザが、ポータルから、Call Forward を設定できるかどうかを決定します。

セルフ ケア ポータルのタスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユーザに対するセルフケア ポータルへのアクセス権の付与 （2 ページ）	ポータルにアクセスするには、エンドユーザを **[Standard CCM End Users]** アクセス コントロール グループまたは **[Standard CCM End Users]** のロールが割り当てられている任意のグループに割り当てる必要があります。
ステップ 2	セルフケア ポータル オプションの設定 （3 ページ）	ポータルにアクセスするユーザが使用できる設定オプションを制御するためにセルフケア ポータル エンタープライズ パラメータを設定します。

ユーザに対するセルフケア ポータルへのアクセス権の付与

ポータルにアクセスするには、エンド ユーザを **[Standard CCM End Users]** アクセス コントロール グループまたは **[Standard CCM End Users]** のロールが割り当てられている任意のグループに割り当てる必要があります。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM Administration] から、以下を選択します。 **[ユーザ管理（User Management）] > [エンドユーザ（End User）]**

ステップ 2 セルフケアへのアクセスを提供する対象となるユーザを検索します。

ステップ 3 [エンドユーザ（End User）] セクションで、ユーザにパスワードと PIN が設定されていることを確認します。

通常、これらのクレデンシャルは、新しいユーザが追加されるときに入力されます。

ステップ 4 [権限情報（Permission Information）] セクションで [アクセスコントロールグループに追加（Add to Access Control Group）] をクリックします。

ステップ 5 [検索（Find）] をクリックして、[標準 CCM エンドユーザ（Standard CCM End Users）] グループまたは [標準 CCM エンドユーザ（Standard CCM End Users）] ロールが含まれているカスタム グループを選択します。

（注） アクセス コントロール グループの編集と設定、アクセス コントロール グループのロール割り当てについては、『『System Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager』』の「ユーザ アクセス設定」の章を参照してください。

ステップ 6 [保存（Save）] を選択します。

セルフケア ポータル オプションの設定

ポータルにアクセスするユーザが使用できる設定オプションを制御するためにセルフケア ポータル エンタープライズ パラメータを設定するには、次の手順に従います。

始める前に

ユーザに対するセルフケア ポータルへのアクセス権の付与 （2 ページ）

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Communications Manager の管理（Cisco Unified Communications Manager Administration）] で、**[システム（System）] > [エンタープライズ パラメータ（Enterprise Parameters）]** を選択します。

ステップ 2 [セルフケアポータル パラメータ（Self Care Portal Parameters）] で、ドロップダウンリストから使用可能なサーバのいずれかを選択して、[セルフケアポータル デフォルトサーバ（Self Care Portal Default Server）] を設定します。

このパラメータは、組み込みのセルフケアのオプション ページを表示するのに使用する Cisco Unified CM サーバの Jabber を決定します。[なし（None）] を選択すると、Jabber はパブリッシャをデフォルトとします。

ステップ 3 [セルフケアポータル パラメータ（Self Care Portal Parameters）] のその他のフィールドを設定して、ポータルの機能を有効または無効にします。フィールドの詳細については、エンタープライズ パラメータのヘルプを参照してください。

ステップ 4 [保存（Save）] を選択します。

セルフ ケア ポータルの連携動作と制限事項

次の表に、セルフケア ポータルの機能の連携動作と制限事項を示します。

機能	連携動作または制限事項
認証されたユーザの https 要求	認証されたユーザが `https://{CUCM_address}/ucmuser/hostAlive/{host}` に要求すると、次のようになります。 • 要求が `http:{host}/` を取得するのに成功した場合、または要求が `{host}` を ping できる場合、Cisco Unified Communications Manager は文字列「`true`」を返します。 • 要求が失敗した場合、Cisco Unified Communications Manager は文字列「`false`」を返します。
エクステンション モビリティの最大ログイン	エンド ユーザがセルフ ケア ポータルでこの設定を構成するには、管理者が、関連する Cisco Unified CM Administration ユーザ プロファイルの **[エンド ユーザにエクステンション モビリティの最大ログイン時間の設定を許可する（Allow End User to set their Extension Mobility maximum login time）]** オプションの設定を確認する必要があります。 このオプションを [ユーザ プロファイル（User Profile）] 内で選択した場合、Self-Care Portal 設定は、そのプロファイルを使用するすべてのユーザに対して、Cisco Unified Communications Manager の **Intra-cluster Maximum Login Time** および **Inter-cluster and Maximum Login Time** サービス パラメータの管理者が設定した値をオーバーライドします。